

陳情書

請願書 受付第 3 号
(陳情書)

令和 2 年 8 月 18 日
西脇市議会事務局

令和 2 年 8 月 18 日

西脇市議会議長
村井 公平 様

陳情者

市立しばざくら幼稚園園児募集延長に伴う閉園延長に関する陳情書

1 陳情理由

幼児教育センターとしての役割も担っている市立しばざくら幼稚園の園児募集延長は、複数年教育（3～5歳児）における研修の質の向上、本市の就学前教育の充実や、待機児童・保留児童の解消にもつながり、英断であると思います。しかしながら、閉園は延長しないということに関して、在園児が卒園を迎えず、転園を余儀なくされる状況に、不安を感じております。

市内の就学前教育の統合のための2年間の募集延長と、閉園延長（卒園の保証）は一体であり、複数年教育を希望し、転園を望む園児を除き、在園児は年長まで在籍し、教育を受けたのち（令和7年3月末）に閉園を迎えるべきだと考えます。

入園した園で一貫した教育を受け、一緒に過ごした先生や仲間と卒園を迎えることが保証されている状況と、転園を余儀なくされ、その時に希望した園に入園出来るかも分からない状況とでは、保護者としては子どもの思いを考えると、ハードルとなり得る大きな要素です。市内の就学前教育の核となっている幼稚園に入園したいと、希望する保護者は多数います。幼児教育センターとして、また、現場研修の場として複数年教育（3～5歳児）の子どもは重要な姿は重要だ、ということも言われています。募集延長されたのちには、転園があしかせとなり希望はしているが諦め、結果として入園者が少なくOJTの機能の低下につながることにならぬよう、2年間の募集延長の間に入園した子どもは、しばざくら幼稚園にて卒園まで保障して頂く。よって実質2年間の閉園延長は必要であると思います。

市が理念に掲げている「質の高い就学前教育・保育の保障」が実現する環境が、募集延長の2年間のうちに、市内全域にて十分に整えば、就学前教育・保育の質の向上推進委員会の先生方のご意見をもとに、しばざくら幼稚園の閉園のあり方についても考慮して頂きたいです。

また現在、保護者への、具体的な進捗状況の説明もないまま、進んでいることに不安を感じます。課題懇談などを通して、色んな働きかけをしている中、今も、説明会は平成28年以降一度も実施されておらず、コロナウィルスの問題も加わり、当初の計画通り順調といえるのだろうか、不安は払拭しきれません。

さらに、保育士不足、多忙を極める中を駆使されている、こども園の現場の先生方に対して、より一層の、行政からの支援・待遇の改善・保育士不足解消の独自の具体策を望みます。

未来の西脇市を担う子どもたちが、より充実した環境で就学前の大切な時期を過ごし、生きる力、考える力を育み、自信をもって義務教育課程へ進むことが出来るよう、西脇市全体の就学前教育の水準向上を求めます。

2 陳情項目

- (1) 令和6年度3月末（令和7年3月末日）までの閉園延長を希望します

3 参考資料

- (1) 三木市幼保一体化一部見直しについて
- (2) 加東市子ども子育て会議録
- (3) 西脇市子ども・子育て支援事業計画（平成27～31年度）
- (4) ～次世代に向け、魅力ある西脇市の姿～